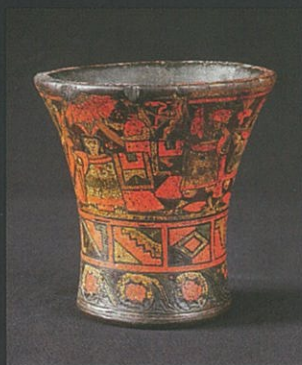
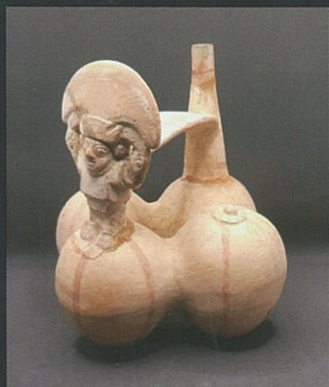
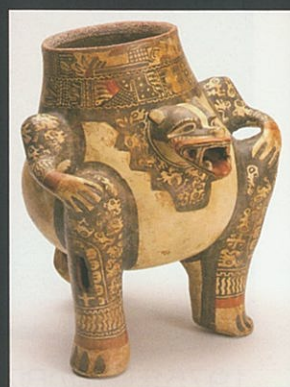


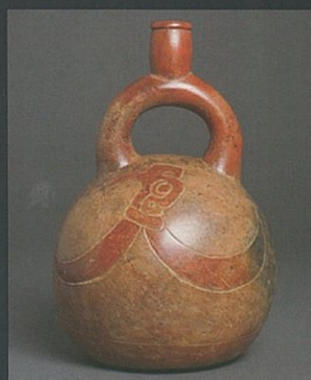
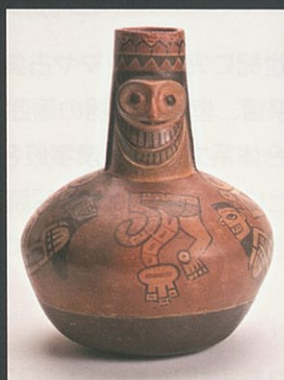
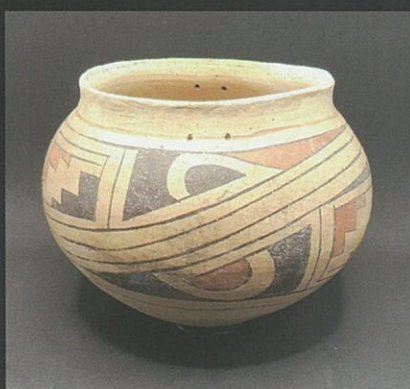
土器たちのおしゃべりに耳を傾けると、遥か昔
地球の真裏で生きた人たちの息吹を感じます。



木器界からも特別ゲストが



おしゃべりな土器たち展



2022.4.16(土)～2022.10.16(日)

開館時間▷午前10時～午後5時(入館は4時半まで)

休館日▷月曜日・木曜日 *ただし月曜日・木曜日が祝日の場合は、翌平日休館致します。

入館料▷大人700(600)円/大学生・高校生500(400)円/小中学生300(250)円 * ()内は20名様以上の団体料金

住所▷〒701-8204 岡山県備前市日生町日生241-10 お問い合わせ▷0120-846-287

電車▷JR赤穂線日生駅下車徒歩8分 車▷山陽自動車道赤穂インターから20分、または備前インターから15分

※新型コロナウイルス流行により臨時休館する場合がございますので、原則前日までに入館ご予約をお願いします。

<https://www.latinamerica.jp> BIZEN 中南米美術館



～ BIZEN 中南米美術館とは～



1975年開館のBIZEN中南米美術館は、我が国唯一の古代中南米美術専門美術館で、北はメキシコから南はボリビアまでの11か国で出土した作品2300点を収蔵・展示しています。その主な内訳は、紀元前4千年～16世紀の土器、土偶、石器、石偶、石彫、金属器、織物、及び大型石彫のレプリカや拓本です。日本でもよく知られているアステカ王国、マヤ文明、インカ帝国の作品はもちろん、メキシコから中米に至るメソアメリカ文明エリアの様々な文化、アンデスとメソアメリカという南北の大文明に挟まれた中間領域やカリブ島嶼部、そしてインカ以前に栄えたブレインカ時代のアンデスの作品も多数収蔵しています。大学との共同研究を行ない、その成果を生かした共同展覧会も数多く開催。五感をくすぐる体験型館内ガイドも人気です。



あなただけの古代マヤ文字名、証明&解説書、ポートレートを
ドネーション（寄付）リターン（返礼品）としてプレゼント！

古代マヤ文字ドネーション



ご協力のお願い

マヤ文字は紀元3～10世紀に完成し、マヤ古典期の各国の王朝で盛んに使われました。エリートだった書記が、絵文書、石碑、祭壇、壁画、土器の周囲等に王家の歴史を記したのです。マヤ文字は表意文字と表音文字から成り立つ混合体系文字で、漢字仮名交じりのような文字もありました。またここ数年は研究者の増加やAIの活用などにより、マヤ文字解読は目覚ましく進歩しています。そんなマヤ文字の表音文字を使うと、皆さんのお名前もマヤ文字に書き換えることができます。しかも極めて芸術的に。

●マヤ文字ドネーション（寄付）募集内容

下記3つのコースいずれも定額 3000 円 / 口です。リターン送料当方負担。
※いずれの組み合わせでも RU1 コースは必須です。

●リターン（返礼品）内容 / RU=リターン・ユニットの略

RU1 コース：マヤ文字名証明書付解説書、白黒マヤ文字名フォトスタンド

RU2 コース：一辺 2.8 cmのマヤ文字名入りゴム印

RU3 コース：彩色マヤ文字名フォトスタンド、超耐水性マヤ文字名シール

●お申し込み方法

BIZEN 中南米美術館窓口でお申し込みいただくか、弊館公式
ホームページ latinamerica.jp トップページ内記事または
右の QR コードからご案内を読み込み、お申し込みください。

